

市役所と文化会館

まだ間に合う!

本厚木駅前合築



改修費60億円

現・文化会館

文化会館は現在、60億円の大規模改修(1~2年休館)を予定しています。3月下旬の本契約です。逆に今なら、駅前移転はギリギリ間に合います。

さとう知一の提案 「市役所と文化会館合築案」は文化振興と賑わいだけでなく、約100億円のお金を生み出すこともできます(厚木総研試算)。

合築
(同時移転)の
メリット

- ① 利便性向上(行きやすくなる)
- ② 中心市街地の活性化
- ③ 大規模災害時避難場所
- ④ 100億円財源確保(跡地利用)

証紙

無所属
53才

政治の
原点は
障害者福祉
弱者救済
子育て支援

明石市の子育て支援「5つの無料化」
(所得制限を設けない)を即導入!

稼ぐ自治体を実現し、
稼いだ予算で、明石市以上の
子育て環境を作ります

厚木生まれ、厚木育ち。

日大藤沢高校、慶応大学、早稲田大学院修了。

社会人を経て30歳で大学入学し、

大学3年時に厚木市議初当選。厚木市議会議員2期、神奈川県議会議員3期。

大学・大学院の学費は全て、
慶応義塾奨学金ほか3つの
奨学金により自力調達し卒業。

さとう知一

とも かず

厚木市長候補

ともかず さとう知一は

厚木新世代の会

新しい厚木市をつくる

5つの重点目標

- 厚木市文化会館を駅前へ **市役所と合築**
- 「ふるさと納税」で稼ぐ自治体へ
- 自治体DX推進 **デジタル変革条例策定**
- 子育て環境「本当の日本一」へ
- 高齢者・障害者福祉も日本一



詳細はコチラ

厚木市に必要な15の提言

- 1 稼ぐ公共を実現し、子育てと働く女性、高齢者支援へ
- 2 地域医療の充実 (往診サポート=対応診療拡大を支援) (仕事終わりにも受診できる医療体制)
- 3 美しいまちづくり (景観を高め、厚木をブランディング)
- 4 スマートシティの推進と情報の多言語化 (ICT活用で新たな価値の創造と行政課題の解決を図る)
- 5 現状、中心市街地に投資が偏り、老人憩いの家の老朽化や道路維持が後手に回っている(要改善)
- 6 緑を増やし都市農業を支援 (農産品ブランド化・農福連携)
- 7 効率的な公共交通システム導入 (タクシーを活用したハイブリッド型バス導入で交通空白地域ゼロへ)
- 8 5000円の児童手当を高校卒業時(18歳)迄 昨年12月財源付きで紙上提案 (小池都知事より早く提案)
- 9 産業活性化と雇用を増やし 事業継承・世代交代
- 10 教育・子育て環境の充実 (18歳迄医療費の無償化・小中学校の給食費無償化)
- 11 空き家・空き店舗の福祉への応用
- 12 無駄遣いを防ぐ仕組み創り (有効な予算の使い方を保障)
- 13 高齢者も文化芸術にアクセス (文化会館駅前移転)
- 14 命を大切にする厚木市 ~人や動物に優しいまちをつくる~
- 15 市内小中学校統合方針再検討と 公共施設管理については バランスを考えた整備をする